

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 0120-782-031 (フリーダイヤル) http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	http://www.imagicarobot.jp/ir/announcement.html
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	6879

ホームページ紹介

当社の情報はホームページでもご覧いただけます。

コーポレートサイト
<http://www.imagicarobot.jp/>



IRサイト
<http://www.imagicarobot.jp/ir/>



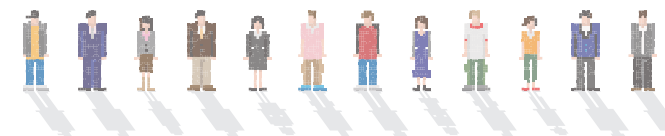
イマジカロボット

検索

Imagica Robot Holdings Inc.

株主・投資家の皆さまへ

2013年4月1日 ▶ 2014年3月31日



トップメッセージ	2
セグメント別の概況	5
年間トピックス	7
連結財務データ	9
会社情報／株式情報	10

株式会社 イマジカ・ロボット ホールディングス

〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目3番2号 内幸町東急ビル11階
TEL: 03-6741-5750



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

株式会社 イマジカ・ロボット ホールディングス

証券コード: 6879

僕らの「魔法」は、
どこまであなたを
ドキドキさせられるだろう。

「マジック」。
私たちにとってそれは、タネや仕掛けを凝らし人々を笑顔にするさまざまな創意工夫。
映画「ALWAYS 三丁目の夕日」シリーズや「永遠の0」、
オスカーを受賞した短編アニメ「つみきのいえ」、
人の眼では捉えきれない一瞬の事象を切り取るハイスピードカメラの開発なども、そのひとつです。
もっともっとあなたにドキドキしてもらいたいから。
私たちはこれからも映像を中心としたさまざまなクリエイティブで、テクノロジーで、
あなたに楽しい驚きをお届けする「魔法の工場」でありたいと願っています。
おかげさまでイマジカ・ロボット ホールディングスは4月25日、東証一部へ上場いたしました。
私たちの「次の魔法」に、どうぞご期待ください。



トップメッセージ

おかげさまで、2014年4月25日
イマジカ・ロボット ホールディングスは東証一部に上場いたしました。

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、2014年4月25日をもちまして、当社株式が東京証券取引所市場第二部より同市場第一部銘柄に指定されました。これもひとえに、株主の皆さまをはじめ、これまでお力添えをいただいた関係者の皆さまの温かいご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

社長就任のごあいさつ

このたび、イマジカ・ロボット ホールディングスの代表取締役社長に就任いたしました、塚田真人でございます。

グループ事業会社の経営を経て、6月25日付でグループの代表をつとめることとなりました。今後グループ全体の企業価値の増大に向けて精進していく所存であります。

当社グループは80年前に京都太秦の映画産業のためのフィルムラボとして発足し、以来、映像産業の変遷のなかで環境変化に対応しながら、現在ではユニークな映像事業を中心とした企業グループへと成長してまいりました。グループのベースにあります、クリエイティブ力、技術力、サービス力を基盤として、今後もユニークな分野で成長を目指してまいります。さらに、「MAGIC FACTORY」として社会に楽しい驚きを与えながら、安定的に収益を確保して、株主、投資家の皆さまのご期待にこたえるべく舵取りをしてまいります。

引き続き皆さまのご支援を賜りますようお願いいたします。



代表取締役社長

塚田 真人

プロフィール

昭和47年4月	株式会社東洋現像所入社
平成11年6月	株式会社フォトロン取締役
平成14年6月	株式会社イマジカ取締役
平成17年6月	同社常務執行役員
平成18年4月	当社事業執行役員
平成19年6月	株式会社フォトロン代表取締役 兼 社長執行役員
平成24年4月	同社顧問
平成25年6月	当社取締役
平成26年6月	当社代表取締役社長社長執行役員

2014年3月期は映像システム事業が過去最高益を記録し、増収増益となりました。

2014年3月期は、映像機器の開発・販売を行う映像システム事業が過去最高益となり業績に大きく貢献いたしました。映像システム事業は、主に高速度カメラ、プロ用映像機器、CADシステム、医用画像システムの開発・製造・販売を行っておりますが、大型案件の受注や更新案件の需要などにより、全分野とも好調に推移いたしました。

主にクリエイターの人材派遣を行う人材コンサルティング事業においては、新たに㈱コスモ・スペースと㈱イマジカ角川エディトリアルズの2社を連結子会社としたほか、人材派遣分野においてWEBやゲーム職種を中心に派遣稼働者数が増加するなど順調に推移いたしました。

また、連結子会社であった㈱ジェンコの保有全株式を売却し、連結対象から除外いたしました。2014年3月期は、連結売上高515億26百万円(前期比3.2%増)、営業利益20億47百万円(同1.8%増)、経常利益21億77百万円(同3.9%増)、当期純利益15億39百万円(同196.7%増)となりました。

「永遠の0」など映画やドラマ、イベント映像を多数制作いたしました。

映画制作では、邦画実写作品で歴代6位の興行収入86億円を突破した「永遠の0」や、はじめて映画を見るお子さま向けの「沖縄美ら海水族館～海からのメッセージ～」、台湾、韓国をはじめとしたアジア地域で公開した「ジंकス!!!」、そして「カノジョは嘘を愛しすぎてる」と「劇場版タイムスクープハンター」の全5作品が劇場公開となり、制作収入などが業績に貢献いたしました。

テレビドラマ制作でも、TBS「安堂ロイド」やテレビ朝日「味のちもんめ2013ドラマスペシャル」等の映像制作を手掛けました。

また、イベント映像では、横浜ドックヤードガーデンの常設展や福島の復興を応援する会津鶴ヶ城「はるか」など、全国各地のイベントで3Dプロジェクションマッピング映像を手掛けております。当社グループの手掛けた映像作品を、さまざまな形で多くの方々にご覧いただいております。

5つの事業が方向性を持ち、事業拡大を目指します。

当社グループは、映像関連分野において幅広く事業を展開し、その領域を次のような5分野としております。これら5つの事業がそれぞれ中長期的な方向性を持ち、各分野での事業拡大を目指してまいります。

映画はデジタルシネマへの移行がほぼ完了している状況ですが、テレビCMやテレビ番組もテープからデジタルへの移行が進んでおります。さらに4K映像も登場するなど制作環境は常に変化し続けております。映像技術サービス事業では、こういった制作環境の変化を確実に捉え、ネットワーク配信やファイルベースにおける業界の標準化を図るとともに、コンテンツ流通における新たな事業の確立を目指します。

映像ソフト事業は、クリエイティビティを發揮して映像作品を手掛けてまいります。個々の制作案件において確実に収益を確保するとともに、オリジナルコンテンツのライツビジネスの拡大を目指します。

放送事業は、2012年のBS放送開始から営業損失が続いておりましたが、収益構造の転換を図るとともに、独自の番組編成で他チャンネルとの差別化を図ってまいります。

映像システム事業は、映像プロフェッショナル向けの製品から一般産業向けの製品まで、各分野で新市場を開拓し、事業領域と事業規模を拡大してまいります。

人材コンサルティング事業は、クリ博サービスをはじめ人材周辺事業にも事業領域を拡大しておりますが、改めて

事業の柱であった人材派遣・請負サービス事業に注力し、人材事業の規模拡大を目指します。

2015年3月期は、連結売上高520億円(前期比0.9%増)、営業利益21億円(同2.6%増)、経常利益21億80百万円(同0.1%増)、当期純利益12億60百万円(同18.2%減)の計画であります。

東南アジア進出など、新たな成長へ向け取り組んでおります。

グローバル化の足掛りとして、マレーシア政府がシンガポール政府と共に大型経済開発を進めているイスカンダル開発地域に拠点を設立し、東南アジア市場へ進出いたします。本年2月にマレーシア国営投資会社カザナ・ナショナルと合弁会社を設立いたしました。アジア最大級の映像制作総合スタジオで、当社がポストプロダクションサービスを一手に請け負ってまいります。マレーシアは、政府がコンテンツ産業を支援しており、アジアにおける映像ビジネスの中心地として世界中から注目を集めています。日本においても、政府がクールジャパン戦略のひとつとして推進するコンテンツ輸出に向けて国内コンテンツホルダーが積極的な動きを見せており、マレーシア拠点を通じ、ポストプロダクション、デジタルシネマ、流通支援、アーカイブの4つのサービスを軸に、東南アジア全域での事業展開を目指してまいります。

Jリーグの映像アーカイブ事業も開始いたしました。Jリーグの創立から約20年間の過去の映像を含め、これから行われる試合映像まで、Jリーグの全ての映像を当社グループでアーカイブ構築してまいります。

その他にも、独自の映像プラットフォーム「HARBOR」の開発・販売や、スマートフォン向けのオリジナルゲームアプリの開発・配信など、新たな成長への布石を確実に打っております。

株主の皆さまへの利益還元を経営の最重要事項のひとつと位置づけております。

当期の配当金は、前期と同額の1株あたり15円といたしました。当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の最重要事項のひとつと位置づけたうえで、財務体質の強化および経営環境の変化に対応するために必要な内部留保の充実等を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

今後とも、中長期的な視点に立ち成長が見込まれる事業分野に経営資源を投入することにより持続的な成長と企業価値の向上を図り、株主価値の増大に努めてまいります。



グループ経営理念

MAGIC FACTORY

Image Magic Creative Magic Technology Magic Communication Magic

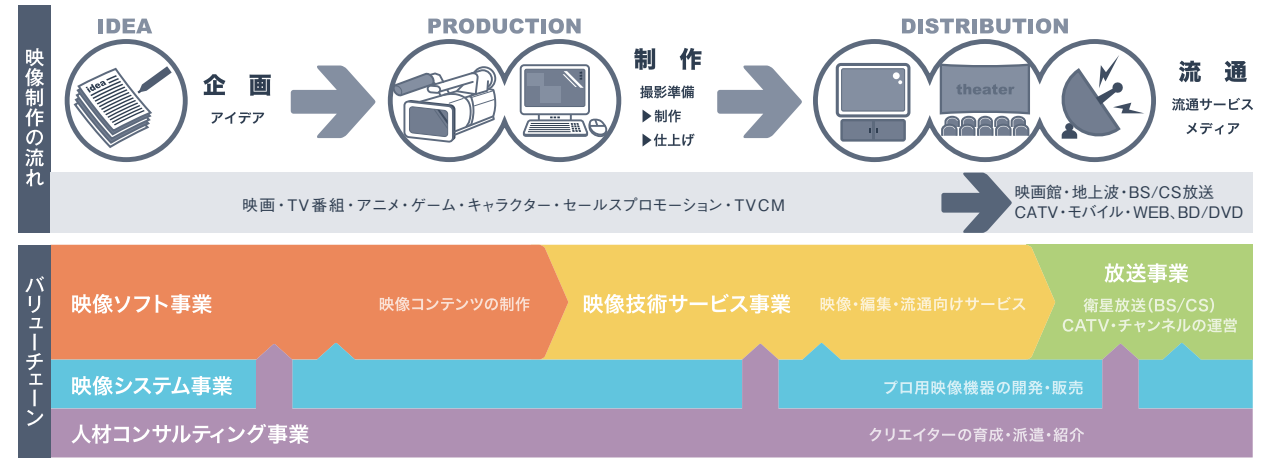
イマジカ・ロボットグループは、誠実な精神をもって、映像コミュニケーションにおける新たな価値創造につとめ、人々に楽しい驚きを与える“魔法の工場”をめざします。

imagica robot group

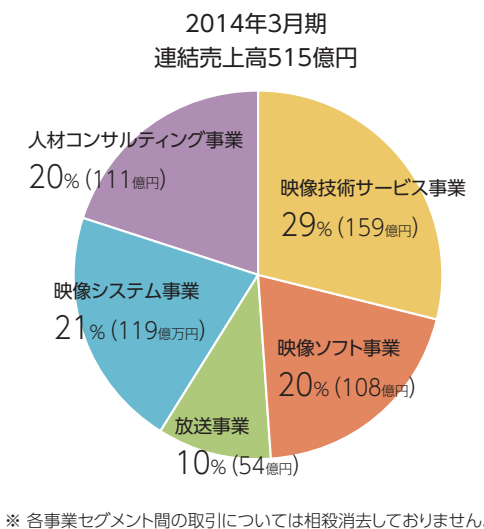
セグメント別の概況

業績(単位:百万円)	事業の概況
映像技術サービス事業  株式会社IMAGICA 他3社 売上高: 2013/3 17,080, 2014/3 15,970 営業利益: 2013/3 1,845, 2014/3 1,365	ポストプロダクション作業では、テレビCM関連作業の中小得意先からの受注が減少しましたが、大手制作会社からの受注は堅調に推移いたしました。映画分野では、デジタルシネマ関連作業において大型案件を受注したことで、DCPの受注は前期実績を上回りました。 また、DVDおよびBlu-ray関連作業では、オーサリング作業が堅調に推移いたしました。2013年12月に新たに設置した「荻窪アニメーションハウス」では、新作レギュラー作品を着実に受注しております。
映像ソフト事業  株式会社ロボット 他1社 売上高: 2013/3 13,117, 2014/3 10,816 営業利益: 2013/3 520, 2014/3 346	映画分野では、制作活動および出資を行った「永遠の0」および「カノジョは嘘を愛しすぎてる」「ジンスクス!!!」等が公開され、制作収入等が業績に貢献いたしました。イベント映像分野では、横浜ドックヤードガーデンの常設展や会津鶴ヶ城等の3Dプロジェクションマッピング映像制作を手掛けました。 なお、アニメを手掛ける㈱ジェンコの保有全株式を譲渡し、連結対象から除外いたしました。
放送事業  株式会社IMAGICA TV 他1社 売上高: 2013/3 5,130, 2014/3 5,472 営業利益: 2013/3 △422, 2014/3 △92	放送分野では、「IMAGICA BS」「歌謡ポップスチャンネル」「FOODIES TV」の3チャンネルを運営しております。「IMAGICA BS」は、新規ケーブル局での配信を開始したことにより加入者が増加し、増収基調にあります。「歌謡ポップスチャンネル」は、高齢化社会を背景に加入者が増加し、媒体価値の向上に伴い広告収入も増加しております。「FOODIES TV」は、レシピのソーシャルメディア「タベラッテ」とブランド統合し、新たにスタートいたしました。
映像システム事業  株式会社フォトロン 他4社 売上高: 2013/3 9,353, 2014/3 11,919 営業利益: 2013/3 906, 2014/3 1,243	全分野とも好調で、業績は過去最高を記録いたしました。 イメージング分野では、主力の高速度デジタルビデオカメラの販売が、国内・海外ともに堅調に推移いたしました。プロ用映像機器分野では、放送局からの大型案件を受注いたしました。また、CADソリューション分野でも、新製品の販売とWindowsXPのサポート終了に伴う更新案件の需要により、好調に推移いたしました。教育映像分野、画像処理LSI分野も大型案件の受注等により、業績に貢献しております。
人材コンサルティング事業  株式会社イマジカデジタルスケープ 他2社 売上高: 2013/3 8,777, 2014/3 11,170 営業利益: 2013/3 294, 2014/3 357	㈱コスモ・スペースと㈱イマジカ角川エディトリアルがグループに変わり、当セグメントの規模の拡大に貢献いたしました。 人材派遣・請負サービス分野では、主力の派遣事業においてWeb職種やゲームエンタテインメント職種を中心に派遣稼働者数が増加し、映像技術者についても派遣稼働者数の増加等により前期実績を上回りました。コンテンツ制作受託の分野では、ゲーム制作を中心に堅調に推移いたしました。

イマジカ・ロボットグループの事業領域



セグメント別売上高構成比



連結子会社の代表者

株式会社IMAGICA	藤川 幸廣
株式会社IMAGICAウェスト	稲土 広己
株式会社IMAGICAイメージワークス	中村 昌志
株式会社IMAGICAトータルサービス	増家 則夫
株式会社ロボット	加太 孝明
株式会社ピクス	中祖 眞一郎
株式会社IMAGICA TV	伊藤 明
株式会社IMAGICA FTV	廣田 和也
株式会社フォトロン	布施 信夫
フォトロン メディカル イメージング株式会社	八木 秀忠
PHOTRON USA, Inc.	瀧水 隆
PHOTRON EUROPE Ltd.	Andrew Hilton
アイチップス・テクノロジー株式会社	布施 信夫
株式会社イマジカデジタルスケープ	大林 克己
株式会社コスモ・スペース	大林 克己
株式会社イマジカ角川エディトリアル	堀内 大示

ロボット制作映画【永遠の0】興行収入86億円突破、邦画実写作品で歴代6位

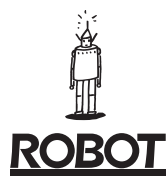
(作品画像)

— 現代を生きる1人の青年が、太平洋戦争で特攻により戦士した実の祖父について調べ始める。そして、かつての戦友たちの証言から、戦後60年にわたり封印されてきた驚きの事実にとどろき着く —

2006年の初版当時からクチコミで人気となり、累計発行部数450万部を超える国民的ベストセラーが、「ALWAYS三丁目の夕日」シリーズの山崎貴監督とロボットという最強タッグにより、ついに待望の映画化となりました。主演 岡田准一さんの「V6を目指します!」というコメントも話題になりましたが、なんと2013年12月21日の公開から8週にわたり映画観客動員ランキング首位とV8を達成、興行収入86億円を突破しました。ロボット制作の感動超大作に、日本中が涙しました。

VFX技術を駆使した戦闘シーンは、本当にCGなのかと驚くほど臨場感あふれる映像。どこまでも広がる青い空や流れる白い雲、大海を突き進む空母の水しぶきなど、実際に撮影した本物の風景に零戦を合成しています。「全部CGで作るのは簡単だが、それでは臨場感が出ない。本物を入れることで、よりリアリティが生まれる。」という山崎監督のこだわりで、あの時代の空気までも体感しているような感覚を覚えます。

©2013「永遠の0」製作委員会



180度体験型3Dプロジェクションマッピングin横浜、ピクスが映像制作を担当

(作品画像)

2013年夏から国重要文化財の横浜ドックヤードガーデンで開催中の、横浜ランドマークタワー開業20周年記念イベント「180度体験型プロジェクションマッピング」。本イベントの映像は、東京駅丸の内駅舎復元イベント「TOKYO STATION VISION」の映像制作も手掛けたP.I.C.S. (ピクス)が担当しています。

かつて造船所のドックであった独特の形状を活かし、高さ約10メートル・横幅約29メートルの船型の石壁に沿って映像を投影することにより、その世界に入り込んだような感覚が味わえます。平坦なスクリーンと違い、壁面が立体的な形状をしているため、石材一個単位で色の調整を施す必要がありました。長さ2mほどの精巧なミニチュア模型を作り、何度もシミュレーションを繰り返して完成した緻密な映像は、第17回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門で審査委員会推薦作品に選出されています。

横浜ランドマークタワー開業20周年記念
横浜ドックヤードガーデン

P.I.C.S.

Jリーグの映像アーカイブ構築に協力—映像アーカイブセンターを設置—

イマジカ・ロボットグループは総力をあげ、Jリーグ映像コンテンツのアーカイブ構築に取り組んでいます。Jリーグの試合映像を管理運営する株式会社Jリーグメディアプロモーションと共同で「Jリーグ映像アーカイブセンター」を設置。Jリーグの過去20年間、約1万試合におよぶ映像のデジタルアーカイブ化を進めています。各試合映像には、試合日や出場選手などの情報から、得点や反則した選手まであらゆる情報を登録するため、テレビ局などが必要なシーンを瞬時に検索することができるようになります。

これまでテープで保管されていたこれらの映像をデジタル化することで、例えばチケット購入者にモバイル端末でハイライト映像をプレゼントしたり、学校のサッカー授業で資料映像として使用したり、様々なニーズに合わせた映像提供が可能になります。デジタルアーカイブ化された映像は無限の可能性を持っており、サッカー観戦に新たなスタイルをもたらすと期待されています。



イマジカ・ロボットグループは
Jリーグの映像を後世に残す事業に協力しています



©Jリーグメディアプロモーション

歌謡ポップスチャンネル、 高齢者層を中心に高い支持



(番組画像)

2013年12月、歌謡ポップスチャンネルの視聴可能世帯数が570万世帯を突破しました。1980年代までは地上波で隆盛を極めた音楽番組ですが、時代と共に民間放送での番組が減少。一方で近年の少子高齢化を背景に、衛星放送の音楽番組が注目を集めています。歌謡ポップスチャンネルはこの流れを敏感に捉え、演歌・歌謡曲の情報発信基地となるべく、青春時代がよみがえる懐かしの番組から演歌・歌謡曲の最新情報まで、充実した音楽情報をお届けしています。

これからも、日本で唯一の歌謡曲専門チャンネル「歌謡ポップスチャンネル」をお楽しみください。

吉幾三コンサート
「支えられて40年」

IMAGICA TVは、映画専門chと食専専門chも運営しています。



フォトロンが映像制作プラットフォーム 『HARBOR』を開発、サービス開始

フォトロンが開発した映像制作プラットフォーム「HARBOR (ハーバー)」は、放送局や番組制作会社など映像業界のプロフェッショナル向けに、業界の共通プラットフォームとして効率の良い映像制作フローを提供する新しいサービスです。映像データの高速転送、クラウドストレージ、物理メディアの倉庫管理、運送の4つの機能を相互に連携させ、映像制作ワークフロー管理および映像データ(物理メディア含む)を一括管理するコストパフォーマンスの良い高速回線をワンパッケージにしました。これにより、撮影現場において数時間かかっていた撮影データのコピー作業時間の削減やハードディスク紛失による情報漏えいのリスクが無くなり、また大量の映像のタイムリーな納品、および納品に関わる手間の大幅な削減など、撮影から納品、さらには倉庫管理まで、映像制作フロー全体における作業/管理負荷の削減と効率的な制作フローの構築が可能となります。



連結財務データ

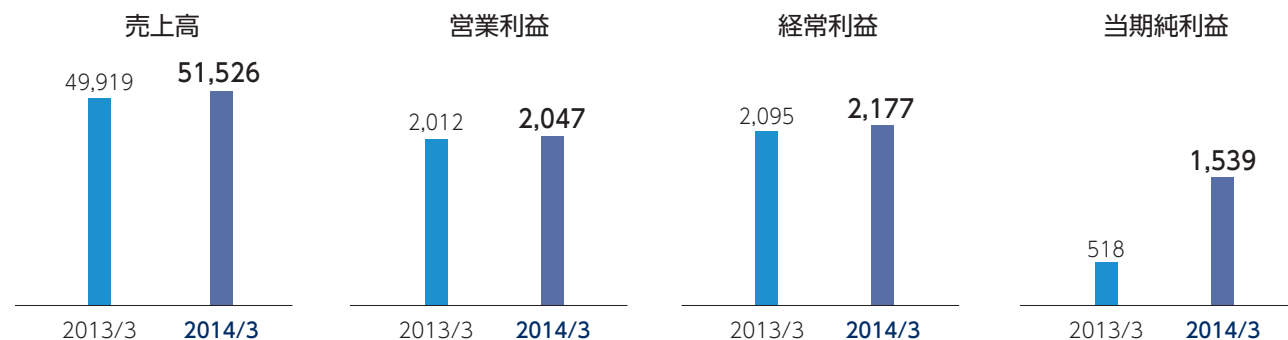
連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期 2013/3	当期 2014/3
流動資産	25,201	27,814
固定資産	13,899	14,231
資産合計	39,101	42,045
流動負債	11,169	12,770
固定負債	2,959	3,127
負債合計	14,128	15,897
株主資本	24,501	25,445
その他の包括利益累計額	290	397
少数株主持分	180	305
純資産合計	24,973	26,148
負債純資産合計	39,101	42,045

連結財務ハイライト

(単位:百万円)



連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 2013/3	当期 2014/3
売上高	49,919	51,526
売上総利益	13,488	14,698
営業利益	2,012	2,047
経常利益	2,095	2,177
当期純利益	518	1,539

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期 2013/3	当期 2014/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,938	2,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,085	△1,553
財務活動によるキャッシュ・フロー	430	△703
現金及び現金同等物に係る換算差額	51	42
現金及び現金同等物の増減額	△665	501
現金及び現金同等物の期首残高	8,790	8,124
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	100
現金及び現金同等物の期末残高	8,124	8,726

会社情報 / 株式情報 (2014年3月31日現在)

会社概要

商号	株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス Imagica Robot Holdings Inc.
設立	1974年6月10日(創立:1935年2月18日)
本店所在地	東京都品川区
事務所 所在地	〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目3番2号 内幸町東急ビル11階
資本金	32億4,491万5,250円
代表者	代表取締役会長 長瀬文男 代表取締役社長 塚田真人
従業員数	1,528名(866名)

※ 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に外数で記載しております。

役員 (2014年6月25日現在)

代表取締役会長	グループCEO	長瀬 文男
取締役副会長		長瀬 朋彦
代表取締役社長社長執行役員		塚田 真人
取締役常務執行役員		北出 継哉
		安藤 潤
取締役		中祖 眞一郎
社外取締役		中内 重郎
		佐々木 経世
執行役員		大久保 力
		竹岡 峰夫
常勤監査役		角田 光敏
社外監査役		杉野 翔子
		岡田 光一郎

株式に関する重要な事項

2014年4月24日を払込期日とする公募による自己株式の処分(一般募集)により、2,059,400株の自己株式の処分を行いました。

株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	42,472,102株 (自己株式2,059,465株を除く)
株主数	4,015名

大株主 (上位10名)

	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社クリアート	27,863,120	65.60
株式会社三井住友銀行	1,244,500	2.93
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	848,000	2.00
株式会社AOI Pro.	800,000	1.88
三井住友信託銀行株式会社	512,000	1.21
長瀬文男	403,200	0.95
株式会社みずほ銀行	400,000	0.94
イマジカ・ロボット ホールディングス 従業員持株会	388,550	0.91
株式会社TBSテレビ	320,000	0.75
日本証券金融株式会社	240,600	0.57

※ 持株比率は自己株式数(2,059,465株)を控除して算出しております。

株式の分布状況

